

2017年7月20日

第39回「講談社ノンフィクション賞」

第33回「講談社エッセイ賞」

決定のお知らせ

第33回「講談社科学出版賞」

講談社主催の平成29年度、第39回「講談社ノンフィクション賞」、第33回「講談社エッセイ賞」、第33回「講談社科学出版賞」の受賞作品が下記のように決定いたしましたので、お知らせいたします。

●第39回講談社ノンフィクション賞（賞状・記念品および副賞各100万円）
選考委員／魚住 昭・後藤正治・最相葉月・中沢新一・野村 進（五十音順敬称略）

『狂うひと ――「死の棘」の妻・島尾ミホ』（新潮社）

梯 久美子（かけはし・くみこ）氏

『勝ち過ぎた監督 駒大苫小牧 幻の三連覇』（集英社）

中村 計（なかむら・けい）氏

●第33回講談社エッセイ賞（賞状・記念品および副賞各100万円）
選考委員／岸本佐和子・酒井順子・東海林さだお・坪内祐三・林 真理子
（五十音順敬称略）

『黄色いマンション 黒い猫』（スイッチパブリッシング）

小泉今日子（こいずみ・きょうこ）氏

『鳥肌が』（PHP 研究所）

穂村 弘（ほむら・ひろし）氏

●この件に関するお問い合わせは講談社広報室TEL03-5395-3410 まで

2017年7月20日

●第33回講談社科学出版賞（賞状・記念品および副賞100万円）

選考委員／黒田 玲子・小林 誠・竹内 薫・西成活裕・藤嶋 昭（五十音順敬称略）

『人類と気候の10万年史 過去に何が起きたのか、これから何が起こるのか』

（講談社ブルーバックス）

中川 毅（なかがわ・たけし）氏

【受賞者プロフィール】

●講談社ノンフィクション賞

梯 久美子（かけはし・くみこ）氏

1961年9月1日、熊本県熊本市生まれ。東京都在住。北海道大学文学部卒業。編集者を経て文筆業に。『散るぞ悲しき 硫黄島総指揮官・栗林忠道』で第37回大宅壮一ノンフィクション賞、『狂うひと — 「死の棘」の妻・島尾ミホ』で第68回読売文学賞および第67回芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。著書に『昭和二十年夏、僕は兵士だった』『百年の手紙』『愛の顛末』『廃線紀行』など。

中村 計（なかむら・けい）氏

1973年9月16日、千葉県船橋市生まれ。千葉県習志野市在住。同志社大学法学部卒業。スポーツ新聞記者を経て独立。スポーツをはじめとするノンフィクションをメインに活躍する。『甲子園が割れた日』でミズノスポーツライター賞最優秀賞受賞。著書に『甲子園が割れた日』『佐賀北の夏』『きみは怪物を見たか』『歓声から遠く離れて』『無名最強甲子園』など。

●この件に関するお問い合わせは講談社広報室TEL03-5395-3410まで

2017年7月20日

●講談社エッセイ賞

小泉今日子（こいずみ・きょうこ）氏

1966年2月4日、神奈川県生まれ。1982年「私の16才」で歌手デビュー。以降、歌手、女優として、舞台、映画、テレビ、CMなどで幅広く活躍する。著書に『小雨日記』『小泉今日子書評集』『原宿百景』など多数。

穂村 弘（ほむら・ひろし）氏

1962年5月21日、北海道札幌市生まれ。歌人。1990年、歌集『シンジケート』でデビュー。その後、短歌のみならず、評論、エッセイ、絵本、翻訳など幅広い分野で活躍。『短歌の友人』で伊藤整文学賞、『楽しい一日』で短歌研究賞、石井陽子とのコラボレーション『It's fire,you can touch it』（「火よ、さわれるの」）で Prix Ars Electronica Interactive Art 部門 honorary mention を受賞。著書に『世界音痴』『によつ記』『絶叫委員会』『ぼくの短歌ノート』『蚊がいる』『野良猫を尊敬した日』など多数。

●講談社科学出版賞

中川 毅（なかがわ・たけし）氏

1968年11月6日、東京都生まれ。1992年、京都大学理学部卒業。1998年、エクス・マルセイユ第三大学（フランス）博士課程修了。Docteur en Sciences（理学博士）。国際日本文化研究センター助手、ニューカッスル大学（英国）教授などを経て、現在は立命館大学古気候学研究センター長。専攻は古気候学、地質年代学。趣味はオリジナル実験機器の発明。主に年縞堆積物の花粉分析を通して、過去の気候変動の「タイミング」と「スピード」を解明することをめざしている。